

市民読書感想文一般の部最優秀作

「コインロッカーベイビーズ」

「ハシの悟り」高畑幸子さん



真夏の太陽がキラキラと照りつけるアスファルトにひとり、取り残されたような...

コインロッカーベイビーズ。何人のひとがこの物語を読んだらうか。センセーショナルなこのタイトル。物語を読まないひと...

タイトルが語っているように、この物語はコインロッカーに遺棄された二人の少年の生き方を描いたものである。

捨てられた事実と、自分自身を強く憎んでいるキクと、自分自身の居場所と生き方を、必死で求めているハシ。

キクは、ダチュラを探している。東京を廃墟の街にするために。海中の奥深くに眠っている精神高揚剤、ダチュラを探しているのだ。

キクはひたすら憎んでいる。自分がコインロッカーに捨てられた事実、そして、やがて目の前に現われた母親を撃ち殺してしまつた事実を、聞く耳を持たない決めつけてしまうことの好きな周りの人間達を。キクを支えているのは、すべてをこなごなに叩き潰し、真白な廃墟にすることだけだ。それは同時に、キク自身をも廃墟にしてしまうことではないだろうか。あるいは、キク自身それを承知のうえか。あるいは、キク自身それを承知のうえか。あるいは、キク自身それを承知のうえか。あるいは、キク自身それを承知のうえか。

そんなキクの生き方とは裏腹に、ハシの生き方は、さらに孤独で、透明で、悲哀感が漂っている。自分を犠牲にして、一つの目的に熱く燃えているキクよりも私はむしろ錯乱状態に陥りながらも、本当の自分の生き方を探しているハシの方に多く心を動かされた。

ハシは音を探していた。それは、幼い頃それとは知られずに、精神病の治療に通っていた病院で聞かされた心臓の音だ。胎児が母親の胎内で聞く母親の心臓の音、それは、圧倒的な至福をもたらし、安心感と勇気を与える音なのである。

ハシは音を探するために、生まれながらにして備わっていた音楽の才能を生かして歌手になることができるが、それまでの幾度かの心の葛藤と、歌手として成功してからのさまざまな出会いと衝突は、必要以上にハシを混乱させた。そのたびにハシは必死で昔聞いた音を探そうとする。ハシの心は純粋に一つの音だけを求めているのだ。

ハシは、物語の中でこう言っている。「僕は自分が誰からも必要とされていないのを知っている。だから、他人を必要としない人間になろうと思ったんだ。」

ハシが異常と思えるほど、心臓の音に執着していたのは、この想いからきているのだと思う。胎内で聞いた母親の心音は、たとえ生んで育てる意志が母親になりにしても、胎児に生命の信号を送り続けていた。胎児には心音が必要であり、心音も胎児を必要としているのだ。無意識のうちにハシは、いや意識の中のずつと奥の方で、自分が生まれてきたことの意味を探し続け、自分は自分の為に生まれてきたのだということを認めるためにかけがえのない、たったひとつ安心して頼ることのできる心臓の音を、自分の胸に響かせたかったのだ。自信と勇氣と至福に充ちた心臓の音を。そして、半ば錯乱状態の中でハシは、このことを強く自分の胸に刻むことができる。

それはひとつの悟りだったと思う。コインロッカーに捨てられたことは、逃れられない事実であり、認めなければいけない。しかし大切なのは、その哀しい事実を乗り越えて、自分自身の生き方をみつめることだ。ひとつの考えにこだわっていると、新しい考えは開けてこない。ハシは、ふっきれたのだと思う。そしてハシの心には、これまでの自分になかった新しい歌が自信と勇氣と至福に充ちた心音と共に、溢れるように流れ出す——コインロッカーベイビーズ。何人のひとがこの物語を読んだらうか。そして何人のひとが、ハシの新しい歌に酔うのだろうか。

行きずりの毎日を過ごしていた私に、ハシの歌が染み入るように流れてくれた気がする。そしてこの一冊は、永遠の鼓動となって、いつまでも私の胸を打ち続けるだろう。



11月6日、餌釣にある身障者福祉センターで在宅身障者を対象にした料理教室が開かれました。この教室は、ふだん家にいることが多い身障者の方々に、外に出て積極的に活動していただくとうと実施したもので、当日は約30人が参加して手軽で栄養価の高い料理のつくり方を実習しました。市では今後、生け花や書道など趣味の教室を実施する予定です。

おいしい料理づくりにも挑戦
在宅身障者のための料理教室

「火事ってこわいな」

秋の火災予防運動

今月七日から十三日まで「秋の火災予防運動」が展開されました。期間中は、ホテル・スーパー・給油取扱所、病院などの危険物調査や避難訓練が行われたほか、火災の恐ろしさや消防署の役割を知ってもらおうと、小学生を対象に見学会も実施されました。児童たちは、火災発生時の出動訓練と火災予防について、メモを取りながら熱心に勉強しました。



大空をス～イ ス～イ

第2回長根山ハングライダー大会



秋晴れの11月7日、第2回長根山ハングライダー大会が開かれました。競技には県内外から約20人の選手が参加、少年自然の家から離陸し、右に大きくカーブして長根山球場の着地点へと飛行、その正確さを競いあいました。選手たちは色とりどりの三角翼を右へ左へ操りながら気持ちよさそうに飛んでいました。

中設所を大切にします

選挙管理委員会 (局長 西村正三)

選挙管理委員会は、市長の事務から離れた独立した執行機関で四人の委員を以って組織されています。委員は市の議会において選挙で選出されます。欠員があったときは補充員の中から順位によって補充されることとなります。事務局はその補助機関として設けられ委員会の事務を処理します。

選挙の啓発も大切な仕事です。選挙が公明かつ適切に行われるよう、常にあらゆる機会を通じて選挙人の政治意識の向上に努めること。そのために明る選挙推進委員の研修、新成人への年賀状や選挙のしくみ、選挙特報の発行がそれです。また住民からの条例の改廃、議会の解散、市長などをはじめ議員委員の解職直接請求に関する事務も担当しています。選挙の事務局は本庁舎裏側の別棟に設けられています。

電話 4913111の内線 296・297

水道に冬じたくを

水道のパイプは、気温マイナス四度以下に下がると、凍結や破裂事故を起こします。そのほとんどの原因は、防寒しなかつたり、水抜きせんを正しく操作しないため「立ち上がり管」に残っている水が凍るためです。おやすみ前や外出などで、ときは、必ず水抜き操作をし、凍結防止に努めましょう。



統計調査を実施しています。この調査は物価に関する基本的な統計調査で、経済運営にとって大切な基礎資料になります。調査員が伺いましたらよろしくご協力をお願いします。